

1. 概要

3分野24施策について、平成28年度の取り組み成果と課題及び平成29年度の実施予定を各検討グループ幹事より説明、その後、意見交換を行い、学識者からは、防災計画と福祉活動計画、災害時の派遣、地域高規格道路と河川堤防の接続箇所の整備等について意見をいただいた。

2. 実施状況

○日時：平成29年6月2日（金）

○場所：武雄河川事務所3階会議室

○出席者：学識者（4名）、各市町、民間企業、佐賀県、佐賀地方気象台、佐賀国道事務所、筑後川河川事務所、武雄河川事務所

関係機関約40名参加

3. 議事内容

①3分野24施策の取り組みについて（各グループ幹事より説明）

- ・佐賀県消防防災課、佐賀国道事務所・佐賀県道路課、筑後川河川事務所、武雄河川事務所

②施策取り組み事例紹介

- ・N T T西日本の防災に関する取り組み
- ・多久ケーブルメディアの防災に関する取り組み
- ・コミュニティFMの調査報告

③その他（気象台より気象警報等に関する情報提供）

会議状況



4. 主な意見・コメント等

- 災害時のボランティアに関する市町と社会福祉協議会の協定の締結状況や訓練の実施状況について確認し、図上訓練等（年1回）を実施してはどうか。
- 学校関係を対象として、学校が避難所となった場合の対応などの訓練を施策の中に入れる等、検討できないか。
- 避難先ではK T B（キッチン、ベッド、トイレ）が不足し、健康に関する二次被害の発生を考慮した避難所の整備を進めてほしい。
- 進捗表には、計画に対する実施状況を具体的に記載してほしい。
- 長期的な気候変化に関する新しい知見が得られれば検討会にフィードバックしては如何かと思われる。
- 当検討会は行政に加え学識者や民間も含んでおり、その検討内容は水防災意識社会再構築ビジョンの減災対策協議会に活かされている。
- N T T西日本の取り組み（災害用伝言板web171）は、回線が繋がる限り活用できるということなので、他の場所でも提供していきたいと思う。

平成29年度 佐賀平野大規模浸水危機管理対策検討会
(第1回実務者連絡会)

施策取り組みの事例紹介

平成29年6月2日

■地域FM(コミュニティFMの実態把握)【国土交通省】

- コミュニティFMは、阪神淡路大震災をきっかけに“災害時にすぐに災害放送を発信”する(できる)媒体として全国へ広まった。(全国で約300局)
- えびすFMが平成24年に開局、佐賀市のほぼ全域で受信可能。
- 災害情報連絡員(リエゾン)が約100人登録、いつでもどこからでも情報発信が可能。
(※FM局との電話による通話が可能な場合)
- 万が一に備えて、バックアップ電源を整備している。

無料アプリ登場!!

SAGA えびすFMが スマホで聴ける!!

出張先、旅行先でも聴けて安心だね!

災害時には**緊急情報を配信!**
地域で発生した火事・災害(地震、大雨、台風)等

アプリは便利な機能がいっぱい!
●ラジオの音声/静止画・動画VIEW
●Twitter・LINE・Facebook・メール・LINE
●メッセージ送信 ●防災情報の受信

佐賀市と周辺町村の緊急情報、安全・安心情報がリアルタイムで自動受信できます!

- 避難情報 ●火災情報 ●学校情報 ●安全安心情報 ●気象情報
- 交通情報 ●河川情報 ●その他の緊急情報等

アプリ無料! 今すぐダウンロードして試してみよう!!

2014 7月10日 から スタート

左記のQRコードをスマートフォン・タブレット・PCから読み取り、App Store、Google playからダウンロードしてください。

えびすFM

〒840-0826 佐賀県佐賀市日田27-1 エムプラザ1F
TEL 0952-97-9699 FAX 0952-27-0702
E-mail: 896@ebisu.fm (18歳未満宛)

佐賀市防災ハイブリッドラジオ
災害時にも安心! 避難情報などをすばやく入手!
TEL (0952) 97-9699

えびすFMのスマートフォン向けアプリは、ラジオ放送が視聴できるだけでなく、文字でも災害情報を発信している。また、アプリのメッセージ機能を利用して、リエゾン以外の方から集まった情報を放送している。

【えびすFMのパンフレットを抜粋】

#えびすFM は、 “人”と“人”をつなぐラジオ局



人と人、ひととまちをつなぐツールとして2012年、佐賀市にコミュニティ放送局“えびすFM”は開局。一人一人の“想い”をつなぎ、“ひとを元気に”“まちを元気に”するFMラジオ局です。公募による市民がパーソナリティをつとめ、災害時にすぐに災害放送がだせるように、すべて生放送です。

市民参加、地域密着、防災・災害放送

いま、ラジオが熱い!

阪神大震災、東日本大震災などでコミュニティFMの役割が再認識されました。

毎日聴くと、元気になる!

午前7時から午後9時まで生放送

100%佐賀の地域情報・生活情報

市民が情報発信できるラジオ局

89.6MHz
カーラジオで聴けるエリア

長崎自動車道での受信エリア

多岐 佐賀 東脊振 鳥栖 大和

SAGA えびすFMがスマホで聴ける!!
えびすFMの専用アプリをダウンロード!

左記のQRコードを読み取りApp Store、Google playを起動してダウンロードしていただくか、App Store、Google playから直接「えびすFM」で検索し、ダウンロードしてください。

(iPhone用) (Android用)

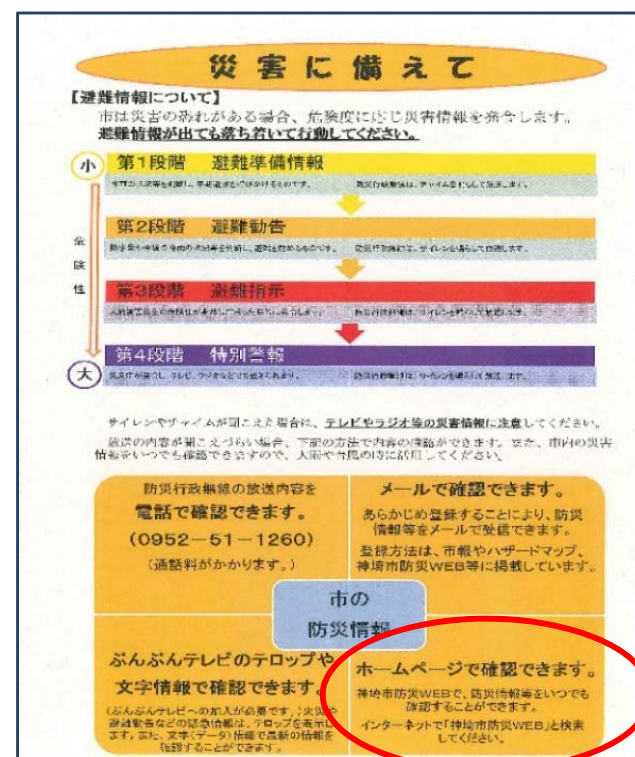
■ 神崎市防災WEBの周知【神崎市】

○市からのお知らせ・災害情報に加え、佐賀地方気象台・国・県や九州電力等の民間のホームページも併せて確認できる「神崎市防災WEB」の周知を、神崎市防災訓練区長説明会時に、チラシを配布した。

【神崎市防災WEB】



【防災情報チラシ】



■ 神崎市防災WEB(平成24年4月より)

【成果】

- 神崎市内121地区の区長へ「神崎市防災WEB」の周知が行えた。
- 出水期を前に「神崎市防災WEB」の周知が行えたため、区長は必要な時期に必要な情報が入手できるようになった。

【課題】

- 「神崎市防災WEB」の周知が区長へは行えたが、地区の住民に伝達されるかは区長しだい。

■防災気象情報の改善【気象台】

防災気象情報の改善（平成29年5月17日13時～気象台HPに掲載）

基本的方向性

- 社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くなくとも発生のおそれを積極的に伝えていく。
- 危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していく。

交通政策審議会気象分科会提言「「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方」（平成27年7月29日）より

改善Ⅰ 危険度を色分けした時系列

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

【現在】

注意報・警報
（文章形式）

【改善後】

注意報・警報
（バーチャート形式）

平成××年×月×日11時××分××気象台発表

××市 [発表] 大雨（土砂災害、浸水害）、洪水警報
高潮注意報
[継続] 暴風、波浪警報 雷注意報

		今日					明日			
		9時	12時	15時	18時	21時	00時	03時	06時	09時
大雨	雨量(mm)	10	30	50	80	50	30	10	0	0
	(浸水害)									
	(土砂災害)									
洪水										
風	陸上(m/s)	15	20	20	25	20	20	15	12	12
	海上(m/s)	20	25	25	30	25	25	20	15	15
波浪 (m)		4	6	6	8	6	6	4	4	3
高潮 (m)		0.6	0.6	1.3	1.8	1.8	0.6	0.6	0.6	0.6

改善Ⅱ「警報級の可能性」の提供

- 夜間の避難等の対応を支援する観点から、可能性が高くなくても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表
- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付		明朝まで	明日	明後日	(金)	(土)	(日)
警報級の可能性	雨	中	—	—	中	高	—
	風	中	—	—	高	高	—

■防災気象情報の改善【気象台】

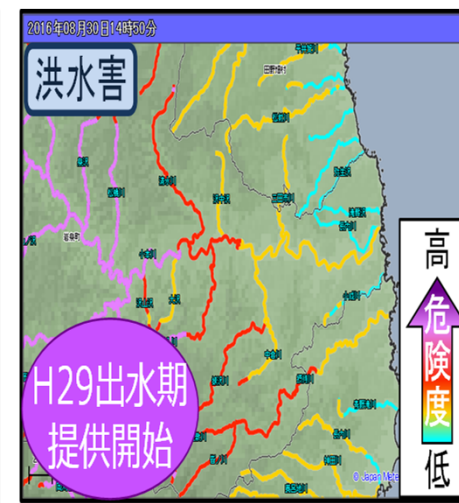
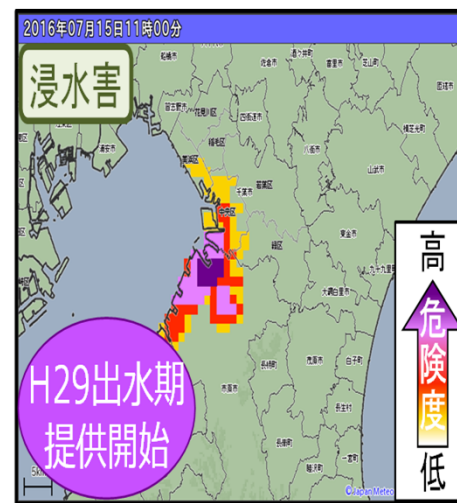
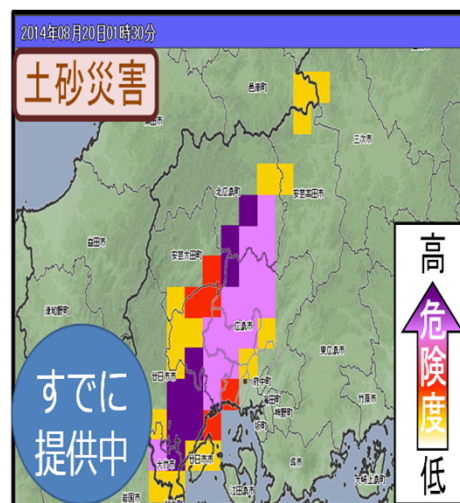
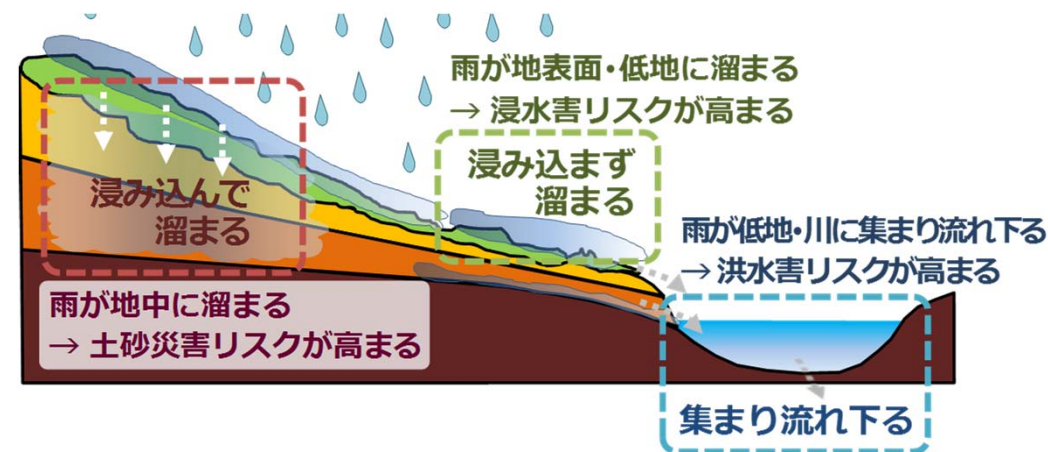
改善Ⅲ メッシュ情報の充実・利活用促進

○メッシュ情報の利活用促進

災害発生の危険度の高まりを評価するメッシュ情報の技術の開発（**表面雨量指数・流域雨量指数**）

○メッシュ情報の技術を活用した大雨・洪水警報の改善
大雨警報（浸水害）・洪水警報等を発表した市町村内においてどこで実際に危険度が高まっているかを確認できる**危険度分布の予測（メッシュ情報）**の提供○メッシュ情報の技術を活用した**大雨特別警報**の発表対象区域の改善

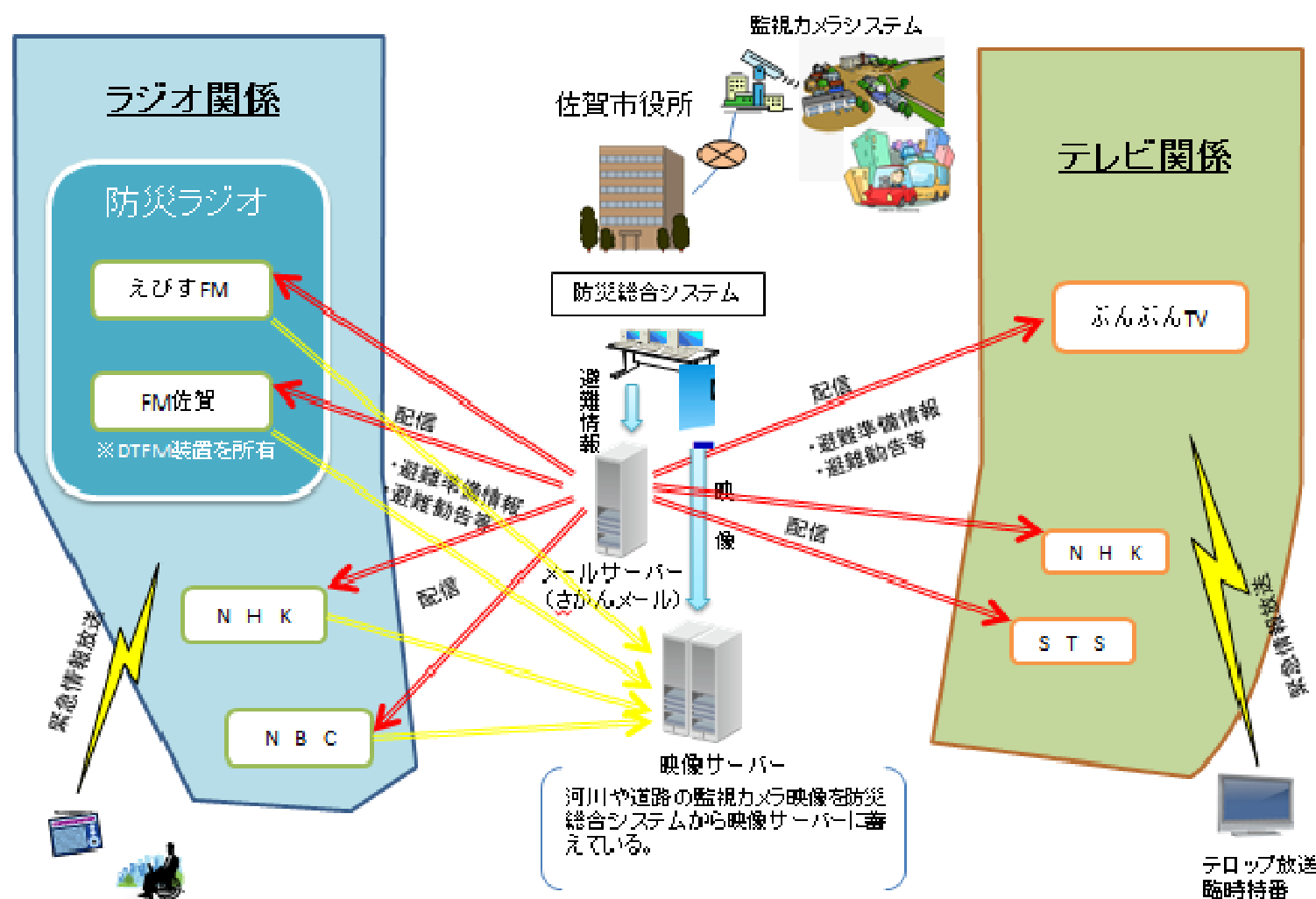
【降雨により災害発生の危険度が高まるメカニズム】



■ マスメディアと連携したわかりやすい水防災情報の発信【佐賀市】

○地元FM2局(エフエム佐賀、えびすFM)、地元ケーブルテレビ(ぶんぶんテレビ)と協定を結び、災害時、地域に密着した緊急放送を通じて、迅速に災害情報や防災情報を発信しており、今後も継続実施

マスコミへの情報提供の概要



施策概要

佐賀県下における気象、水文(雨量、水位)、各機関の防災体制、洪水予報、道路情報、一般被害状況等について総合的に情報を網羅するサイトの充実と周知

H28年度 実施内容

(株)多久ケーブルメディアでは、スマートフォンを活用した河川の監視カメラ映像配信を開始(H29.1)。

※各機関において、継続的にホームページなどを通じて各種防災情報提供を実施している。

①「防災・防犯」をタップ

②「河川カメラ」をタップ

③見たい観測所名をタップ

④リアルタイムの映像が表示される。

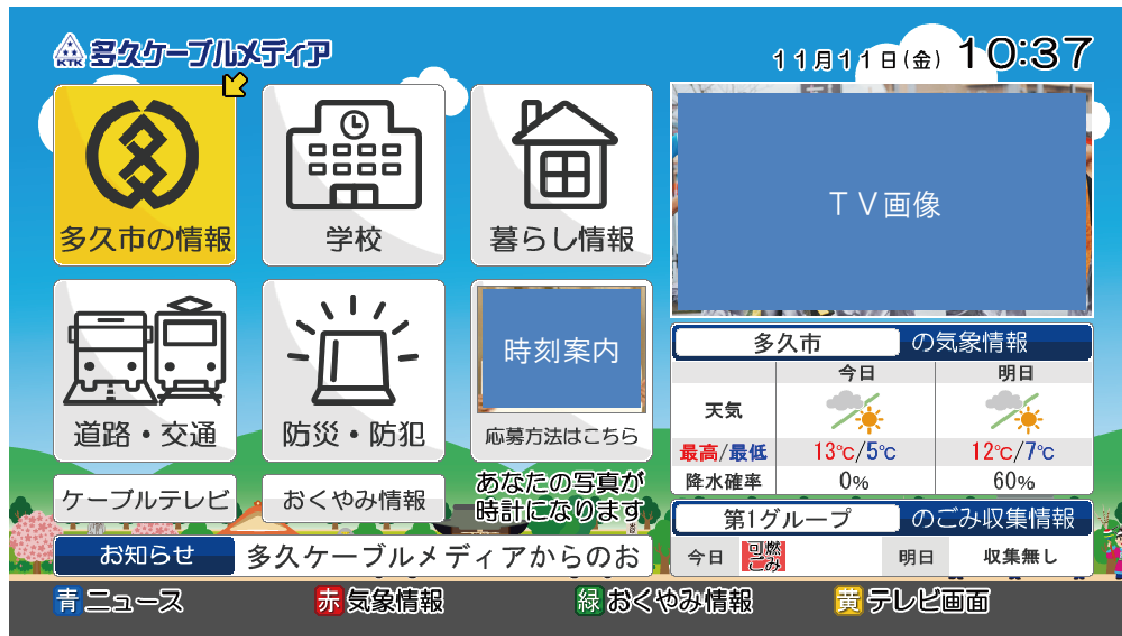
※監視カメラの映像は、5分毎に更新されます。

施策概要

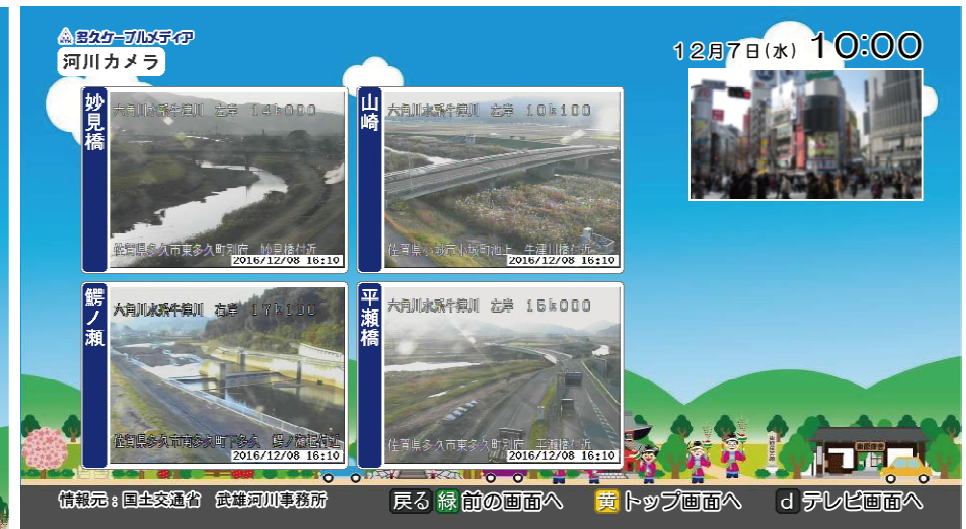
地上デジタルデータ放送を活用し、河川防災情報(水位・雨量等のデータや画像)を住民に迅速・正確・わかりやすく提供する。市町が防災情報の周知のため使用するケーブルテレビ放送を通じ、河川情報(監視カメラ映像、ヘリテレ映像、水位や高潮の情報)を配信する。

H28年度 実施内容

平成29年1月1日より(株)多久ケーブルメディアの自主放送にてデータ放送を運用開始。
(多久市役所と協定のもと情報を提供)
データ放送では、多久地区の気象情報も確認でき各災害情報をL字で提示。
また、河川カメラ画像(国土交通省河川カメラ)を常時確認できる様になり、一般市民もリアルタイムで(妙見橋・山崎・鰐ノ・平瀬橋)映像を見ることが可能。
土砂災害警戒情報(県河川砂防課)の提供開始。



トップ画面



河川カメラ画像